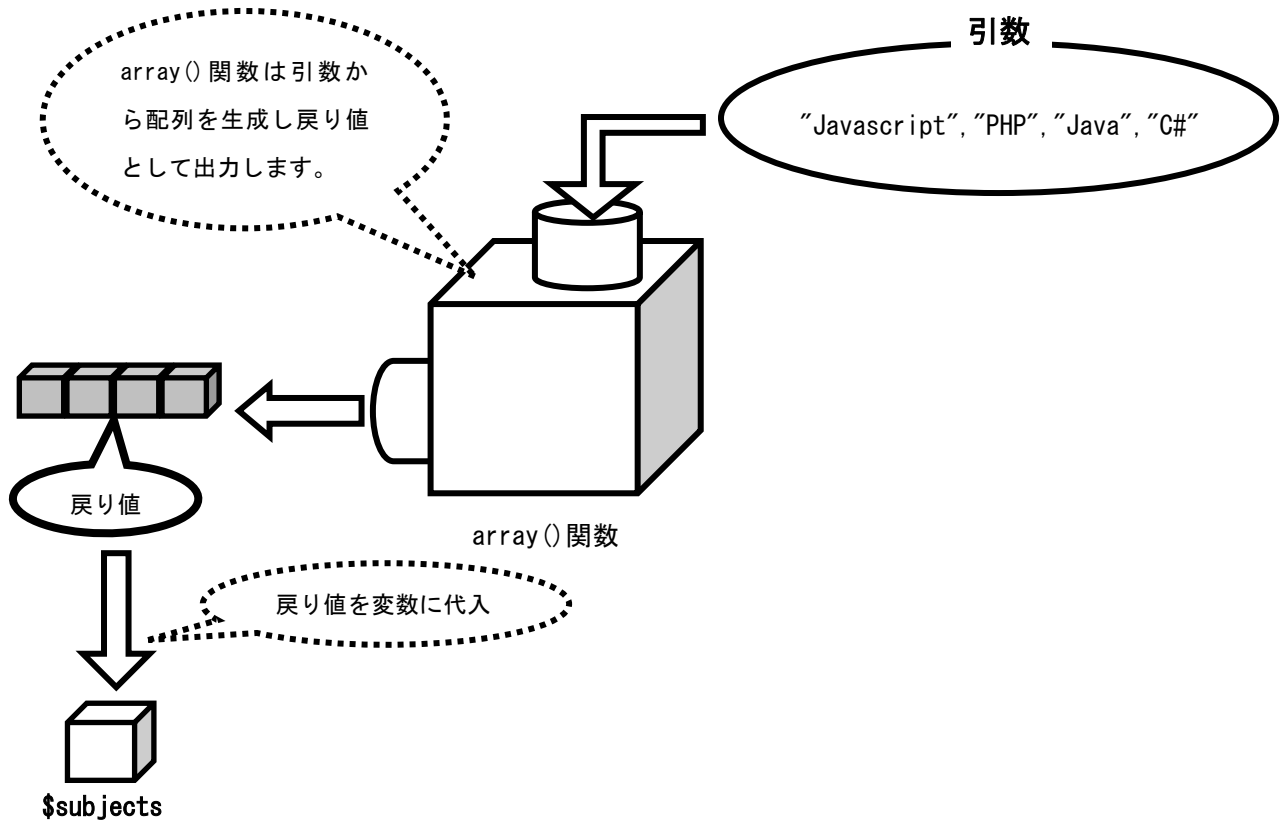


関数

▼標準関数

MAMP 上の PHP 開発環境などには、array() や count() などの**標準関数**が装備されています。

例) `$subjects = array("Javascript", "PHP", "Java", "C#");`



書式

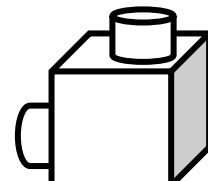
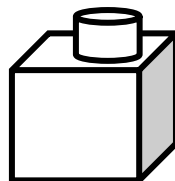
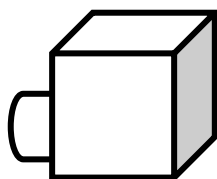
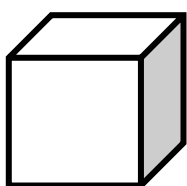
引数/戻り値 の あり/なし の組み合わせにより、以下の4通りのパターンがあります。

関数名();

戻り値 = 関数名();

関数名(引数);

戻り値 = 関数名(引数);



▼ユーザー定義関数

PHP は標準関数の他に、ユーザーが独自の関数を定義することも可能です。
アプリケーションを制作する際、何度も同じ様の機能の処理を記述する場合は、
処理内容をユーザー定義関数に定義しておくことにより、いつでも
名前を呼ぶだけで処理を実行することができます。

書式 (ユーザー定義関数)

```
function 関数名(引数){  
    処理内容  
    return 戻り値  
}
```

例) function_sample.php

```
<?php  
function addTax($amount,$tax){  
    $result = $amount * (1 + $tax / 100);  
    return floor($result);  
}  
  
$total = addTax(3000, 8);  
echo "合計金額は".$total."円です。<br/><br/>";  
  
echo "合計金額は".addTax(5000, 8)."円となります。<br>";  
?>
```

戻り値の値を
変数に代入してから利用

function 呼び出しの記述が
戻り値の値に代わる